



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月30日

上場会社名 沖電気工業株式会社  
 コード番号 6703 URL <https://www.oki.com/jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 鎌上 信也  
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 山内 篤  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家向け

上場取引所 東  
 TEL 03-3501-3836

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	81,375	24.4	1,121		2,148		3,326	
2020年3月期第1四半期	107,617	21.0	1,075		149		369	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 3,394百万円 ( %) 2020年3月期第1四半期 4,693百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	38.43	
2020年3月期第1四半期	4.27	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	351,300	98,719	28.0
2020年3月期	372,471	106,440	28.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 98,509百万円 2020年3月期 106,205百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		50.00	50.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	405,000	11.4	8,500	49.5					

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	87,217,602 株	2020年3月期	87,217,602 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	652,810 株	2020年3月期	690,583 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	86,564,875 株	2020年3月期1Q	86,530,762 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2020年7月30日(木)に機関投資家向け決算説明会を開催いたします。説明会資料は、本決算短信と同時にTDNetで開示しており、同日当社ホームページにも掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年6月30日）の概況

国内では労働力不足やインフラ老朽化など、またグローバルでは環境問題、5G/AIをはじめとする技術革新に加えて、新型コロナウイルス感染症によるパラダイムシフトなど、OKIを取り巻く事業環境は著しい変化が続いています。

このような環境変化がもたらす社会課題に対応するため、OKIは、共創によるイノベーションを加速するとともに、事業ポートフォリオの再構築および経営基盤の強化に取り組んでいます。長い歴史で築き上げた端末のインストールベースと強固な顧客基盤を価値創造の源泉として、リアルな世界でのモノづくりと、クラウドとをリアルタイムに連携させるソリューションやサービスのコトづくりの両輪で、社会課題の解決を目指しています。

当第1四半期連結累計期間の業況は、売上高は814億円（前年同期比262億円、24.4%減少）となりました。主に、前期のキャリア向けネットワーク構築の大型案件や官公庁向けの大型更新需要の反動減が影響しました。さらに、ブラジル子会社の事業譲渡や、新型コロナウイルス感染症拡大による海外市場での販売不振などもあり、減収となりました。この大幅な減収の結果、営業損失は11億円（同22億円悪化）、経常損失は21億円（同22億円悪化）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損失は33億円（同29億円悪化）となりました。上記の要因の他、前期には非事業性資産の売却などによる特別利益の計上があったこともあり、前年比の増減幅が大きくなりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の影響額は、売上高で約110億円、営業利益で約20億円、それぞれマイナス影響がありました。各国での社会・経済活動は、これまでは主に感染リスクの回避が優先されてきました。しかし今後は社会的にある程度のリスクを許容しながら経済活動とのバランスを図る、いわゆるニューノーマルに向けた動きに変わりつつあると考えています。業績への影響は第2四半期以降軽減され、第3四半期以降は回復基調に入ると想定しています。

単位：億円	2021年3月期	2020年3月期	増減率
売上高	814	1,076	△24.4%
営業利益	△11	11	—
経常利益	△21	1	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△33	△4	—

事業別の外部顧客に対する売上高および営業利益は、次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## ②事業別の状況

## &lt;ソリューションシステム事業&gt;

売上高は400億円（前年同期比128億円、24.2%減少）となりました。前期の工事進行基準の適用範囲拡大による初年度影響およびキャリア向けのネットワーク構築関連や一部官公庁向けの大規模案件の反動減を主因に減収となりました。

営業利益は売上減少に伴い、17億円（同8億円減少）となりました。

単位：億円	2021年3月期	2020年3月期	増減率
売上高	400	528	△24.2%
営業利益	17	25	△31.5%

<コンポーネント&プラットフォーム事業>

売上高は400億円（前年同期比116億円、22.6%減少）となりました。国内市場は相対的に安定しているものの、海外市場において、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を強く受けました。アジア市場における入札の中断に加えて、欧州市場におけるプリンター消耗品販売の不振を主因に、減収となりました。

営業損失は17億円（同20億円悪化）となりました。欧州市場において、利益率の高いプリンター消耗品販売が減少し、売上構成が悪化したことがセグメント全体の利益悪化の大きな要因となりました。

単位：億円	2021年3月期	2020年3月期	増減率
売上高	400	516	△22.6%
営業利益	△17	3	—

<その他>

売上高は、14億円（前年同期比18億円、57.3%減少）となりました。主に、ブラジル子会社の事業譲渡による減少が影響しました。

営業利益は0億円（同1億円改善）となりました。

単位：億円	2021年3月期	2020年3月期	増減率
売上高	14	32	△57.3%
営業利益	0	△1	—

(2) 財政状態に関する説明

①当第1四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産等の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に対して212億円減少の3,513億円となりました。自己資本は、親会社株主に帰属する四半期純損失を33億円計上したことおよび普通配当を43億円実施したこと等により、前連結会計年度末に対して77億円減少の985億円となりました。その結果、自己資本比率は28.0%となりました。

資産では主に、受取手形及び売掛金が322億円減少した一方で、たな卸資産が65億円増加しております。

負債では主に、支払手形及び買掛金が80億円減少しております。なお、借入金の前連結会計年度末777億円から20億円減少し、757億円となりました。

②当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、主に運転資金が減少したことにより、160億円の収入（前年同期112億円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出および連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出があったことにより、35億円の支出（同7億円の収入）となりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローとを合わせたフリー・キャッシュ・フローは125億円の収入（同119億円の収入）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、普通配当の実施および借入金の返済等により、68億円の支出（同49億円の支出）となりました。

以上の要因に加え、現金及び現金同等物に係る換算差額による減少1億円により、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末の465億円から521億円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症による業績への影響を合理的に算定することが困難なことから未定としておりましたが、国内外での経済活動再開の動きが見えてきたとともに、OKIグループの事業ごとに受ける影響について一定の見通しがついたため、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定いたしました。

2021年3月期通期連結業績の見通しは、売上高は前期比522億円減収の4,050億円、営業利益は同83億円減益の85億円を予想しております。

ソリューションシステム事業は、前期の工事進行基準の適用範囲拡大による初年度影響および大型案件の反動減が大きく、減収減益の見込みです。一方で、社会インフラ領域では航空関連において、またネットワーク領域ではインフラ増強投資など、強い需要が継続しており、底堅く推移していくものと見込んでいます。

コンポーネント&プラットフォーム事業は、主に、欧州市場におけるプリンター販売の不振が年間を通して改善は見込めないと予想し、減収減益の見通しです。国内市場については、一部に期ズレの可能性はあるものの、年間では大きな影響はないと見込んでいます。またアジア市場については、低調な自動化機器の入札が第3四半期以降は回復に向かうと想定しています。

なお、通期見通しにおける新型コロナウイルス感染症の影響額は、売上高で約200億円、営業利益で約60億円、それぞれ減少すると見込んでおり、この大半が海外市場におけるものです。ハードウェアの海外事業については、短期的な業績は感染症の影響は避けられないと予想するものの、社会がニューノーマルへ変革するなか、さらなる抜本的な構造改革と速やかな実行が必要と認識しています。現在、構造改善策を急ぎ取りまとめ中のため、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益の通期見通しについては、引き続き未定といたします。今後、開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

通期連結業績予想に用いた為替換算レートは、110円/米ドル、120円/ユーロです。

単位：億円	2021年3月期	2020年3月期	増減率
売上高	4,050	4,572	△11.4%
営業利益	85	168	△49.5%
経常利益	—	138	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	—	141	—

単位：億円		2021年3月期	2020年3月期	増減率
ソリューション システム	売上高	1,950	2,291	△14.9%
	営業利益	150	208	△28.0%
コンポーネント& プラットフォーム	売上高	2,050	2,163	△5.2%
	営業利益	10	55	△81.8%
その他	売上高	50	119	△57.9%
	営業利益	0	△6	—
消去・本社費	営業利益	△75	△90	—
合計	売上高	4,050	4,572	△11.4%
	営業利益	85	168	△49.5%

## (将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因としては、市場の動向、原材料の高騰、急激な為替変動、災害等による影響などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	49,227	54,805
受取手形及び売掛金	111,314	79,103
製品	15,901	19,583
仕掛品	14,332	17,533
原材料及び貯蔵品	21,978	21,593
その他	24,352	25,270
貸倒引当金	△382	△383
流動資産合計	236,726	217,506
固定資産		
有形固定資産	51,428	49,758
無形固定資産	11,288	11,420
投資その他の資産	73,027	72,615
固定資産合計	135,744	133,794
資産合計	372,471	351,300
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	61,714	53,742
短期借入金	35,415	35,914
引当金	7,382	6,396
その他	55,429	53,614
流動負債合計	159,940	149,667
固定負債		
長期借入金	42,310	39,763
役員退職慰労引当金	372	342
その他の引当金	1,468	1,572
退職給付に係る負債	32,129	32,280
その他	29,808	28,956
固定負債合計	106,090	102,914
負債合計	266,030	252,581
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	44,000	44,000
資本剰余金	19,047	19,029
利益剰余金	60,847	53,195
自己株式	△971	△918
株主資本合計	122,923	115,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△218	△1,112
繰延ヘッジ損益	112	11
為替換算調整勘定	△9,029	△8,510
退職給付に係る調整累計額	△7,583	△7,184
その他の包括利益累計額合計	△16,718	△16,795
新株予約権	171	136
非支配株主持分	64	73
純資産合計	106,440	98,719
負債純資産合計	372,471	351,300

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	107,617	81,375
売上原価	82,450	60,565
売上総利益	25,167	20,810
販売費及び一般管理費	24,091	21,931
営業利益又は営業損失(△)	1,075	△1,121
営業外収益		
受取利息	24	7
受取配当金	651	370
雑収入	138	213
営業外収益合計	813	591
営業外費用		
支払利息	446	393
為替差損	936	575
雑支出	358	649
営業外費用合計	1,740	1,618
経常利益又は経常損失(△)	149	△2,148
特別利益		
固定資産売却益	918	—
投資有価証券売却益	1,921	—
関係会社株式売却益	165	—
特別利益合計	3,005	—
特別損失		
投資有価証券評価損	103	—
事業構造改善費用	1,524	639
特別損失合計	1,628	639
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,526	△2,788
法人税、住民税及び事業税	340	△82
法人税等調整額	1,544	614
法人税等合計	1,885	531
四半期純損失(△)	△358	△3,320
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	6
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△369	△3,326



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△358	△3,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,860	△894
繰延ヘッジ損益	△119	△100
為替換算調整勘定	140	521
退職給付に係る調整額	504	398
その他の包括利益合計	△4,335	△74
四半期包括利益	△4,693	△3,394
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,705	△3,403
非支配株主に係る四半期包括利益	12	9

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,526	△2,788
減価償却費	2,989	2,951
引当金の増減額(△は減少)	△79	△916
受取利息及び受取配当金	△675	△378
支払利息	446	393
売上債権の増減額(△は増加)	13,071	31,298
たな卸資産の増減額(△は増加)	831	△7,314
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,909	△7,647
その他	△3,737	511
小計	12,462	16,109
利息及び配当金の受取額	671	378
利息の支払額	△457	△336
法人税等の支払額	△1,431	△113
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,245	16,037
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,587	△1,747
無形固定資産の取得による支出	△1,331	△769
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△1,045
その他の支出	△604	△281
その他の収入	5,264	298
投資活動によるキャッシュ・フロー	741	△3,545
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,024	1,105
長期借入金の返済による支出	△3,116	△3,027
配当金の支払額	△3,838	△3,845
リース債務の返済による支出	△1,003	△1,127
その他	31	52
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,902	△6,841
現金及び現金同等物に係る換算差額	△319	△50
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,765	5,599
現金及び現金同等物の期首残高	26,823	46,517
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,589	52,116

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症による影響)

OKIグループ(当社及び連結子会社)は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が当連結会計年度も一定期間続くとの仮定のもと、会計上の見積り(繰延税金資産の回収可能性、固定資産減損の兆候判定等)を会計処理に反映しており、当該仮定に前連結会計年度から重要な変更はありません。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、将来における結果がこれらの仮定及び見積りとは異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ソリューションシステム	コンポーネント &プラットフォーム	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	52,801	51,640	104,442	3,175	107,617	—	107,617
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	898	1,588	2,486	3,598	6,085	△6,085	—
計	53,700	53,228	106,928	6,774	113,703	△6,085	107,617
セグメント利益 又は損失(△)	2,544	339	2,883	△117	2,765	△1,690	1,075

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、用役提供、その他機器商品の製造及び販売を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,690百万円には、セグメント間取引消去52百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,744百万円及び固定資産の調整額2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ソリューションシステム	コンポーネント &プラットフォーム	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	40,042	39,977	80,019	1,356	81,375	—	81,375
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	770	1,282	2,052	3,208	5,260	△5,260	—
計	40,812	41,259	82,072	4,564	86,636	△5,260	81,375
セグメント利益 又は損失(△)	1,743	△1,703	40	46	87	△1,209	△1,121

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、用役提供、その他機器商品の製造及び販売を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,209百万円には、セグメント間取引消去101百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,339百万円及び固定資産の調整額29百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、IoT/5G時代に求められるモノづくりの強化を目指してメカトロシステム事業、プリンター事業、EMS事業を再編し、「コンポーネント&プラットフォーム事業」としております。また、情報通信事業を「ソリューションシステム事業」に改称しております。さらに、従来、報告セグメントのメカトロシステム事業として開示しておりましたOKI BRASIL INDÚSTRIA E COMÉRCIO DE PRODUTOS E TECNOLOGIA EM AUTOMAÇÃO S.A. 及びその子会社は清算手続きに向け準備中であることから、報告セグメントから除外し、「その他」の区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。